

令和5年度

認定こども園の自己評価表

吉野川市立高越こども園

【評価対象期間】

令和5年4月1日から令和6年2月29日

【評価責任者】

吉野川市山川町町94番地
吉野川市立高越こども園

管理者 住友 順

こども園における自己評価の結果

A: たいへんよい
 B: よい
 C: 一部検討を要する
 D: 改善を要する

項目

◎ 保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育・教育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を踏まえ、0歳児から小学校就学前までの園児の成長を見据え、一貫した保育・教育を行っている。今後も園児一人一人の発達を保障し、健康で豊かな人間形成の基礎を培うことができるよう、職員が協力して教育・保育の実践に努めていきたい。また保護者には重要事項に関する説明書や園だより等で園の方針や目標を伝え、理解を促していきたい。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を活かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4) 目標は、前年度の反省を活かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				指導計画は、園児の実態を把握し、特に乳児は一人一人の園児に対応したものを作成し、保育に生かしている。月毎、週毎の遊びや生活の計画を立案している。更に記録することで保育を振り返り、反省したり、次の遊びや生活に必要な準備や環境構成を行っている。また、市指導主事による一日訪問・指導の際には指導案を立て、保育後、研修を行っている。研修の時間の確保は課題であり、その方法についても検討していきたい。子どもの人権を大切にす保育について更に職員間で研修していきたい。
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				園児の生活リズムに配慮し、興味や関心を大切にしながら教育・保育を進めている。発達に合わせたプログラムに取り組んでいるが、柔軟に対応している。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、実施回数は変わらないが、保護者の参加人数は多くなった。しかし、インフルエンザなど他の感染症も流行したため、引き続き感染対策をしながら行事を実施した。行事の内容について保護者役員会でも協議し実施した。感染症が流行する前の生活に戻りつつあるため、更に行事の内容の見直しを行い、実施していきたい。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分活かしているか。		○			
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育・教育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経 営 組 織	分 掌 ・ 体 制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			シフト勤務、職員の園内外の研修もできる各クラスや職員で協力し保育を進めている。早出・遅出の合同保育での時間帯においても、その時間の園児数を確認し、定められた基準を満たした職員配置をしている。職員の仕事の分担においては、適宜、実践しやすいように職員間で協力しながら仕事を進めている。
		(2) 職員の配置は適材・適所か。	○				
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			定期的に職員会議を開き、情報交換や共通理解を図っている。職員全員の参加は難いため、会議の記録を残し周知ができるようにする。また短い時間で集まる回数を増やし、連絡や共通理解できるようにしたい。
		職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」や園の「全体的な計画」に基づき、各年齢別やクラスの実態に応じた保育目標を設定している。各クラスの遊びや生活の状況を伝え合い、異年齢間の活動に取り組み、更にクラスの保育を充実させていきたい。年齢別・クラス毎の保育実践および記録は集積している。今後も保育の記録や評価を行い、適切な保育やクラス運営ができるよう努めていく。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 同年齢及び異年齢間間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(4) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○				
	保 健 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に活かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			園児の健康状態については保護者と連絡を取り合っており、今後も保護者と連携し園児の健康に留意していきたい。新型コロナウイルス感染症は5類に移行されたが、多くの園児が生活する園であるため、引き続き消毒や手洗いの励行など感染症の拡大防止に努めた。嘱託医による各種健診を実施、新入児対象に入園前の内科健診も行っている。避難訓練は年間計画を立て、火災、地震、水害、不審者対応の訓練、職員の消火訓練(2回)を実施した。健康・安全な生活については今後も家庭へ啓発をしていきたい。
		(2) 避難訓練・防犯安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			
情 報 に つ い て	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を選正に取り扱っているか。	○				個人情報保護方針に基づき、職員は守秘義務を遵守している。個人情報が含まれる書類の取り扱いについては十分配慮し保管している。公文書收受、発送等は適正に処理している。	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
施 設 ・ 設 備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				消防設備、エレベーター、厨房施設、遊具について専門業者による定期点検を行っている。毎月、職員による施設や遊具の点検も行い、気になる箇所は修繕している。不審者対応は事務室でモニター等を通して園周辺の状況を確認しているが、今後も送迎の時間帯以外は玄関を施錠し防犯に努める。保護者の迎えは職員が対応し、携帯している保護者証を確認している。掲示場所は今後も工夫し、クラスの活動など情報の提供に努力が必要である。	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出 納 経 理	(1) 保護者会会計を選正かつ適切に処理しているか。	○				監事に年1回監査を受け、監査報告をしている。	

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれたこども園づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		本園は高越小学校と一体化した施設であり、新型コロナウイルス感染症が5類になったことにより、小学校の各学年と交流することができた。(遊び、音楽、体験入学、学校生活、紙芝居等)5歳児の就学時健診も小学校で行い、学校の雰囲気を感じた。また職員間は健診や特別支援教育、行事について協力したり、情報共有したりしている。更に互いに保育や授業等を参観することを通して、教育・保育を理解し連携を進めていけるよう努めていきたい。
		(2) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
		(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。		○			
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			7月の参観は、クラスごとに時間を設けて行った。屋外で行う運動会は、今年度は入場者数の制限を設けず、多くの保護者、祖父母が観覧することができた。地域の方の協力で芋苗植えや収穫をさせていただき、お礼に5歳児の発表を観てもらうなど交流できた。地域の祭りに参加して楽しんだことにより、園でも友達と神輿を作って担ぐなど、自分たちの生活や遊びに取り込んでいた。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				子育て支援室を週3日開放しており、昨年度より利用が増えてきている。園庭開放(月2回)や一時預かり事業も実施しており、園庭や遊戯室を開放し季節や行事に応じた保育をしている。保護者を対象とした学習については、近年実施していないため検討していきたい。子育て相談は、送迎時の機会や個別に懇談をするなどして対応しているが更に柔軟に対応できればと考える。園児の心身の発達について保護者と相談しながら、医療機関、児童発達支援センター、保健師等と連携を図っており、今後も個人情報保護に留意しながら取り組んでいきたい。今年度は支援学校巡回相談員による研修も行った。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の発信	(1) こども園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。			○		園だよりは毎月発行し、お知らせや各クラスの保育目標を載せているが、園児の生活や遊び、活動の様子についての発信は少なかった。分かりやすい写真やコメントで知らせていくよう努めたい。小学校や児童クラブとは、避難訓練や参観日の行事の開催時期等について情報を共有し協力している。
(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○				
外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		第三者評価導入については、検討課題である。保護者には毎年園の運営についてアンケートを行い結果を知らせている。結果を受け止め、今後も職員全体で問題を認識し改善に向けて取り組んでいきたい。	
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○				